



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 大成ラミック株式会社
コード番号 4994 URL <http://www.lamick.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木村 義成
(氏名) 長谷部 正
配当支払開始予定日

TEL 0480-97-0224
平成25年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,231	3.9	1,003	△0.4	1,013	1.0	675	17.1
25年3月期第2四半期	9,850	△3.9	1,007	△22.2	1,003	△22.7	576	△22.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	108.73	—
25年3月期第2四半期	92.85	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	24,646	13,143	53.3
25年3月期	21,294	12,689	59.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 13,143百万円 25年3月期 12,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	33.00	—	37.00	70.00
26年3月期	—	33.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	37.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,008	5.7	1,501	△15.7	1,513	△16.2	967	△10.6	155.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	6,300,000 株	25年3月期	6,300,000 株
26年3月期2Q	91,657 株	25年3月期	91,612 株
26年3月期2Q	6,208,384 株	25年3月期2Q	6,208,413 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済政策の期待感から円安・株高が進行し、輸出関連企業を中心とした景気回復の兆しが一部で見られたものの、新興国の経済停滞、欧州経済の長期低迷等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当軟包装資材業界におきましては、原油高騰に伴う原材料価格の値上がりや円安進行に伴うエネルギーコストの上昇等から、各社とも厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社のビジネスモデルである包装フィルムと液体充填機械を提供する体制のもと、液体包装システムを国内外の食品並びに化粧品業界等に対し、積極的な営業活動に取り組んでまいりました。当第2四半期累計期間では、平成25年5月に竣工いたしました新工場（白岡第2工場）を主軸に、一層の生産体制の最適化を図り、生産性の向上及び内製化の推進に努めてまいりました。また、当初予想では円安進行に伴い原油価格高騰による原材料価格の値上がりを期初より見込んでおりましたが、足元では上昇傾向であるものの、当第2四半期累計期間での影響は軽微でありました。

その結果、売上高は102億31百万円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益は10億3百万円（同0.4%減）、経常利益は10億13百万円（同1.0%増）、四半期純利益は6億75百万円（同17.1%増）となりました。

[包装フィルム部門]

包装フィルム部門につきましては、記録的な猛暑及び残暑の影響もあり、夏物商品の受注が好調であったことや、液体スープを採用した袋入りラーメンが市場に受け入れられ、当社が専門とする液体小袋市場に追い風となり、売上高は堅調に推移いたしました。

その結果、包装フィルム部門の売上高は94億62百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

[包装機械部門]

包装機械部門につきましては、新規顧客の開拓や既存顧客の更新ニーズなど、中長期的な需要の掘り起こしを行うなか、一昨年に上市しました高速液体充填機「DANGAN G」がユーザー各社から高い評価を頂き、販売台数の大半を占めるほど多くの引き合いを受けることができました。

その結果、包装機械部門の売上高は7億68百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ33億51百万円（前事業年度末比15.7%）増加し、246億46百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ16億11百万円（同14.2%）増加し、129億27百万円となりました。主たる増加要因としては、現金及び預金が10億56百万円、流動資産のその他が2億16百万円、商品及び製品が1億83百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ17億39百万円（同17.4%）増加し、117億18百万円となりました。主たる増加要因としては、新工場建設に伴い建物（純額）が22億72百万円、機械及び装置（純額）が14億27百万円増加し、有形固定資産のその他（純額）に含まれる建設仮勘定が、新工場本稼働に伴う本勘定への振替により26億82百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ28億97百万円（同33.7%）増加し、115億2百万円となりました。主たる増加要因としては、新工場建設に伴う資金調達による長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が25億53百万円、買掛金が6億31百万円増加し、流動負債のその他が3億37百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、131億43百万円（前事業年度末の純資産合計は126億89百万円）となりました。主たる増加要因としては、利益剰余金が4億45百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の59.6%から6.3ポイント下降し53.3%となり、1株当たり純資産額は2,117円8銭となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期会計期間末及び当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による収入が11億98百万円、投資活動による支出が18億36百万円、財務活動による収入が22億94百万円あったことにより、前事業年度末に比べ16億56百万円増加し、当第2四半期会計期間末には35億11百万円となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は11億98百万円(前年同四半期比33.7%増)となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益10億9百万円、仕入債務の増加額6億31百万円、減価償却費5億65百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額3億4百万円、たな卸資産の増加額2億74百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は18億36百万円(同7.9%増)となりました。

これは主に、新工場建設等に伴う有形固定資産の取得による支出23億28百万円、関係会社株式の取得による支出1億3百万円、定期預金の払戻による収入6億円(純額)等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は22億94百万円(同294.6%増)となりました。

これは主に、新工場建設に伴う資金調達で長期借入による収入29億円、長期借入金の返済による支出3億46百万円、配当金の支払額2億29百万円等であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月7日に公表いたしました業績予想につきましては修正を行っております。具体的内容につきましては、平成25年10月15日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,555,324	4,611,528
受取手形及び売掛金	5,618,792	5,683,530
商品及び製品	1,293,707	1,477,492
仕掛品	435,944	489,703
原材料及び貯蔵品	158,549	195,182
その他	253,058	469,851
流動資産合計	11,315,377	12,927,288
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,571,825	3,844,173
機械及び装置(純額)	806,383	2,233,482
土地	3,338,884	3,448,157
その他(純額)	3,328,949	1,179,400
有形固定資産合計	9,046,042	10,705,214
無形固定資産	436,877	403,230
投資その他の資産		
その他	506,713	620,780
貸倒引当金	△10,435	△10,435
投資その他の資産合計	496,277	610,344
固定資産合計	9,979,197	11,718,789
資産合計	21,294,575	24,646,078
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,891,294	3,522,783
1年内返済予定の長期借入金	597,696	1,026,096
未払法人税等	319,258	356,021
賞与引当金	288,000	290,000
役員賞与引当金	21,800	10,900
株主優待引当金	65,727	30,854
その他	1,114,857	777,391
流動負債合計	5,298,633	6,014,047
固定負債		
長期借入金	2,799,778	4,924,930
退職給付引当金	339,285	350,287
役員退職慰労引当金	34,216	31,841
その他	132,685	181,406
固定負債合計	3,305,965	5,488,465
負債合計	8,604,599	11,502,512

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,408,600	2,408,600
資本剰余金	2,896,075	2,896,075
利益剰余金	7,590,204	8,035,532
自己株式	△209,336	△209,446
株主資本合計	12,685,542	13,130,760
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,432	12,805
評価・換算差額等合計	4,432	12,805
純資産合計	12,689,975	13,143,566
負債純資産合計	21,294,575	24,646,078

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,850,201	10,231,683
売上原価	7,548,723	7,868,773
売上総利益	2,301,477	2,362,910
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	251,514	264,762
貸倒引当金繰入額	△5,013	—
役員報酬	60,153	61,509
役員賞与引当金繰入額	10,800	10,900
給料及び手当	298,704	309,297
賞与引当金繰入額	94,222	96,533
退職給付費用	32,638	34,949
役員退職慰労引当金繰入額	1,800	1,900
福利厚生費	61,261	65,491
旅費及び交通費	50,116	44,303
賃借料	138,710	141,299
消耗品費	26,824	26,270
減価償却費	35,981	57,771
株主優待引当金繰入額	30,228	30,966
その他	206,263	213,489
販売費及び一般管理費合計	1,294,205	1,359,446
営業利益	1,007,272	1,003,463
営業外収益		
受取利息	3,743	1,783
受取配当金	2,297	2,434
物品売却益	4,725	6,353
受取補償金	3,975	3,970
為替差益	—	3,327
雑収入	2,615	3,243
営業外収益合計	17,356	21,113
営業外費用		
支払利息	6,502	7,770
売上割引	1,033	1,028
支払補償費	5,245	2,498
為替差損	7,698	—
雑損失	817	9
営業外費用合計	21,298	11,306
経常利益	1,003,330	1,013,270
特別損失		
固定資産除却損	8,895	3,727
リース解約損	—	368
投資有価証券評価損	28,967	—
特別損失合計	37,863	4,096
税引前四半期純利益	965,466	1,009,174
法人税、住民税及び事業税	420,458	340,155
法人税等調整額	△31,488	△6,019
法人税等合計	388,969	334,135
四半期純利益	576,497	675,038

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	965,466	1,009,174
減価償却費	277,000	565,915
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17,522	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,000	2,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,300	△10,900
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△32,651	△34,872
退職給付引当金の増減額(△は減少)	32,607	11,002
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,800	△2,375
受取利息及び受取配当金	△3,961	△4,218
有価証券利息	△2,078	—
支払利息	6,502	7,770
有形固定資産除却損	4,782	2,810
無形固定資産除却損	1,146	804
投資有価証券評価損益(△は益)	28,967	—
売上債権の増減額(△は増加)	△541,376	△64,738
たな卸資産の増減額(△は増加)	100,156	△274,177
仕入債務の増減額(△は減少)	528,692	631,488
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,190	△211,269
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△18,797	△38,533
その他の流動負債の増減額(△は減少)	37,372	△82,984
その他の固定負債の増減額(△は減少)	6,164	△149
その他	11,271	126
小計	1,358,050	1,506,873
利息及び配当金の受取額	6,151	4,388
利息の支払額	△6,422	△7,866
法人税等の支払額	△461,332	△304,620
営業活動によるキャッシュ・フロー	896,446	1,198,773
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,401,491	△2,500,000
定期預金の払戻による収入	3,301,253	3,100,000
貸付金の回収による収入	2,598	2,604
有形固定資産の取得による支出	△1,469,478	△2,328,097
無形固定資産の取得による支出	△131,970	△5,177
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3,071	△3,144
関係会社株式の取得による支出	—	△103,090
その他	122	103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,702,037	△1,836,800
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	2,900,000
長期借入金の返済による支出	△167,948	△346,448
リース債務の返済による支出	△21,190	△29,544
配当金の支払額	△229,341	△229,666
自己株式の取得による支出	△79	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	581,440	2,294,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△224,150	1,656,203
現金及び現金同等物の期首残高	1,762,620	1,855,324
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,538,470	3,511,528

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)及び当第2四半期累計期間
(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当社の事業は、液体包装フィルム及び液体充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、
記載を省略しております。